

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立石田小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報を関係付けながら話し合うことについては理解できている。</li> <li>・書く事柄を整理することが理解できている。</li> <li>・説明的な文章の中で図や表と関係づけて読み取ったりすることは理解できている。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数の位取りについては、理解できている。</li> <li>・図形の構成をする技能は、身につけている。</li> <li>・文章題の場面を理解し、答えを求めることは理解できている。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語文の登場人物の人物像を捉えることに課題がある。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準量・比較量・割合の関係を正しく捉えることに課題がある。</li> </ul>
B問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を明確にすることが、まとめた文章を書く時に効果があることを理解している。</li> <li>・適切に文章と資料を結びつけて読み取ることは身につけている。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数量のきまりを見つけ、適応させる力は身につけている。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。</li> <li>・目的や意図に応じて、グラフを基に自分の考えを書くことに課題が見られる。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することに課題がある。</li> <li>・式の中の数値の意味を解釈し、それを記述することに課題が見られる。</li> <li>・図形を構成する角の大きさを基に、示された四角形を並べてできる形を判断することに課題がある。</li> </ul>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語では、自分の考えの理由を書こうという姿勢を持って授業に臨んでいる児童が多い。</li> <li>・算数では、ノートに考えが分かるように書こうとしている児童が多い。</li> <li>・学校に行ったり、友達と会うことが楽しいと思っている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して、自分の力で解決しようとする意思が弱く、周りに頼る傾向がある。</li> <li>・読書の時間を30分以上すると回答している児童が少ない。</li> <li>・協力して何かをやり遂げるうれしさを感じていない児童がいる。</li> </ul>

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語文の登場人物像を捉えられなかったり、読みながら自分の考えをまとめられなかったりすることについては、読書の機会を増やすことで力を伸ばしていく。また、読書を通じて、様々な文章表現に触れ、自分の考えを書く力を伸ばす基盤としていく。</li> <li>・話す聞くについては、学校全体でも話し合い活動によって読み取る力を伸ばそうとしているので、このまま取り組みを深めていく。</li> <li>・課題となる学習内容については、指導法等の再検討を行う必要がある。問題の難易度が上がると無回答の割合も比較的高くなっている傾向もあるので、自分で考える時間を十分に確保し、自力解決の喜びを味わうことができるような取り組みを学校全体としても工夫していく。</li> </ul>
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日当たりのテレビゲームや携帯電話、インターネットの利用時間が全国・県と比較して長い傾向があります。もう一度、お子さんと利用について話し合う機会を設け、心や体への影響を理解させるようにしましょう。</li> <li>・ボランティア活動に参加する意思を持っている児童が半数程度との結果が出ています。ご家庭でも、お子さんとボランティアの考え方について話し、「人の役に立つ」意識を育てていきましょう。</li> <li>・図書館の利用について、学校ではさらに読書の機会を増やすようにし、優れた文章表現に触れられるようにしたいと考えています。ご家庭でも、例えば、物語を読み聞かせたり、一緒に読んだりする中で、文章構成の工夫や美しい文章表現などをお子さんと共有し、お子さんの文章構成の力を伸ばしていけるとよいと思います。</li> </ul>
--